

表 慶長 16 年、美江寺に架設された船橋の資材負担領主・代官

	人名	石高	豊臣家臣・旗本	備考
1	郡宗保	460 石	豊臣家臣	慶長 16 年 (1611)、豊臣秀頼の上洛に供奉。 同年、大坂衆として禁裏普請助役。
2	山代忠久	300 石	旗本	初め豊臣秀吉馬廻。関ヶ原合戦を期に徳川家康に仕える。 慶長 11 年 (1606)、江戸城普請奉行。慶長 12 年 (1607)、駿府城普請奉行。
3	伏屋飛驒	300 石	豊臣家臣	慶長 9 年 (1604)、豊国社臨時祭礼の惣奉行。同年、摂津・和泉の国絵図作成担当。 慶長 11 年、江戸城普請奉行 (豊臣氏派遣)。
4	伏屋左衛門	400 石	旗本	父為長は豊臣秀吉馬廻、のち徳川家康に仕える。
5	武田左吉	550 石	豊臣家臣	豊臣秀吉の馬廻。
6	佐藤堅忠	300 石	旗本	初め豊臣秀吉に仕える。文禄 3 年 (1594)、伏見城普請奉行。 関ヶ原合戦を期に徳川家康に仕える。慶長 12 年 (1607)、駿府城普請奉行。
7	佐久間政実	300 石	旗本	初め豊臣秀吉に仕える。文禄 3 年 (1594)、伏見城普請奉行。 関ヶ原合戦を期に徳川家康に仕える。伏見町奉行などを歴任する。
8	福富平兵衛	360 石	豊臣家臣	豊臣秀吉の馬廻。
9	吉田重基	480 石	豊臣家臣	慶長 16 年、豊臣秀頼の上洛に供奉。同年、大坂衆として禁裏普請助役。
10	山田信濃	300 石	豊臣家臣	慶長 9 年、豊国社臨時祭礼の惣奉行。
11	瀧川忠征	700 石	旗本	初め豊臣秀吉に仕える。文禄 3 年、伏見城普請奉行。関ヶ原合戦では西軍。 のち徳川家康に仕える。慶長 12 年、駿府城普請奉行。
12	水原吉勝	230 石	豊臣家臣	慶長 9 年、摂津・和泉の国絵図作成担当。慶長 11 年、江戸城普請奉行 (豊臣氏派遣)。
13	井上定利	560 石	豊臣家臣	大坂七組の野々村吉安組に所属。
14	金森正近	500 石	豊臣家臣	大坂七組の中島式部少輔組に所属。
15	松波勝吉	500 石	旗本	父勝直は、初め織田信雄に仕える。天正 18 年 (1590) から徳川家康に仕える。
16	酒井久三郎	500 石	旗本か	
17	徳山直政	3,000 石	旗本	父秀現は、もと前田利家家臣。
18	栗原盛清	460 石	代官	武田氏旧臣

※「亥年濃州江渡・美江寺・呂久船橋道具割帳」(岐阜県歴史資料館所蔵)、柏木輝久『大坂の陣豊臣方人物事典』、高柳光壽・松平年一『戦国人名辞典』をもとに作成。